

# 水戸市長杯第30回選抜古希軟式野球大会 実施要項

- 1 主催 公益財団法人 水戸市スポーツ振興協会
- 2 後援 水戸市 水戸市スポーツ協会 茨城県軟式野球連盟 株式会社茨城新聞社
- 3 主管 茨城県還暦軟式野球連盟
- 4 協賛 ナガセケンコー株式会社 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- 5 会期 令和6年11月12日(火)～14日(木) 予備日 15日(金)
- 6 会場 ノーブルホームスタジアム水戸(水戸市民球場)・軟式球場
- 7 出場チーム 主催者及び茨城県還暦軟式野球連盟が推薦した25チーム  
茨城4・東京4・千葉2・群馬2・埼玉3・栃木3・神奈川2・山梨1・令和5年度優勝1  
令和5年度準優勝1・推薦2(開催地2)
- 8 出場資格 (1)昭和31年4月1日以前に出生した者で組織するチームであること。  
(2)令和6年9月1日現在、参加都県に居住もしくは勤務している者で組織するチーム。  
(3)1チームの構成は監督を含む選手10名以上30名以内とする。  
(4)不正出場その他の規則違反が発覚した場合は、該当チームを大会より除く。
- 9 適用規則 2024年度公認野球規則によるほか大会規則を適用する。
- 10 審判 全試合、茨城県還暦軟式野球連盟審判員が行う。
- 11 大会規則 (1)DH制(10人制で10人攻撃・9人守備)を採用する。  
但し、試合に於いてチームは、従来通りの9人制か10人制かを選択できるが、途中の変更は認めない。  
10人制を選択したチームは、先発メンバーの中に『打撃』のみを行う打者を1名加え『DH』で表記し、打順は何処に入っても良いが試合終了まで打撃のみを行い、守備につくことは出来ない。『DH』に代打・代走を出す事は出来るが、起用された者も守備につくことは出来ない。守備についた選手はDHにはなれない。  
相手投手が交代しない限りDHは1度は打席に立たなければならない。  
(2)試合は、トーナメント方式で7回とし、同点の場合は『タイブレーク方式』によって決する。  
(但し決勝戦を除く)『タイブレーク方式』は1アウト満塁で実施、打順は前回からの継続とし、走者は前回の最終打者を一塁走者、あと前打者がそれぞれ二塁、三塁走者となる。『タイブレーク方式』は2回までとし、決着のつかない場合は抽選とする。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。決勝戦については、通常の延長戦を12回までとし、決着のつかない場合は両チーム優勝とする。  
(3)5回以降点差が7点以上生じた場合はコールドゲームを適用する。(但し決勝戦を除く)  
(4)メンバー表は先発メンバー9人を記入したもの、またはDHを採用する場合は、10人を記入すること。その提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時に監督または主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。なお、メンバー表と登録原簿とが相違する場合は、その選手の参加は認めない。  
(5)第2試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。  
(6)監督、主将の変更(代行)は、当日試合前のメンバー表提出時に会場本部、審判員、相手チームの確認のともに行う。  
(7)投手板と本塁の距離は16.3m、各塁間は25.0mとする。  
(8)ウェイティングサークル内スイング禁止。  
(9)申告敬遠を採用する。  
(10)サングラスの着用は認める。但し投手が使用する場合は、事前に相手チーム、審判員の了承を得て使用すること。但し、ミラーレンズは禁止とする。  
(11)選手の交代は監督が同行して球審のところに行き、交代を告げ球審確認後、背番号を本部・放送席に見えるようにし、確認してから打撃・守備・ランナーにつくこと。  
(12)金属付きスパイク及びズック靴でのプレーは禁止する。  
(13)打者、走者、次打者、ベースコーチは、必ずヘルメットを着用すること。  
(14)スパイクのデザイン・カラーは自由とする。

- (15)ユニフォームは、同色・同型・同意匠のもので企業名を入れてはならない。  
(アンダーシャツ・ストッキング・スパイクを含む)
- (16)ロングパンツ着用時は膝下まで上げストッキングがはっきり見えるようにすること。
- (17)アンダーストッキングとストッキングが一体となった物の使用は認める。  
(但し、使用する場合は必ずチームで統一すること)
- (18)参加申込書（登録原簿）提出後の選手の変更、追加登録及び背番号の変更は認めない。
- (19)背番号は、0番から99番とし、監督30番・主将は10番とする。00番と3桁番号は認めない。
- (20)不正出場等の規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟の定める規則により処理する。
- (21)途中棄権をしてはならない。もしその事実があった場合には、その事由の如何を問わず  
該当チーム及び所属ブロックは、ペナルティの対象とする。
- (22)金属ハイコン（複合）バットは連盟公認 J S B B のマークのついたものに限る。
- (23)臨時代走は打者が頭部他に死球を受けた場合、又は打者走者が守備選手と衝突負傷した  
場合に限り認めるが、自己負傷した時に代走を出す場合には選手交代とする。

- 1 2 試 合 球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認球、ケンコーボールM号を使用する。
- 1 3 参 加 申 込 出場推薦を受けたチームは、下記大会事務局のホームページから申込書をダウンロードして作成し、  
令和6年9月24日（火）までに必着するよう、大会事務局まで送付すること。新規登録選手は、住  
民票、運転免許証もしくは健康保険証の写しを添付すること。
- 1 4 組 合 せ 抽 選 主管役員立ち会いのもと、9月30日（月）に主催者側で厳正な代理抽選を行う。  
※抽選結果は、下記大会事務局のホームページで公表いたします。
- 1 5 開 会 式 (1)と き 令和6年11月12日（火）  
※午前8時30分から第一試合、第二試合に出場するチームが参加します。  
(2)と ころ ノーブルホームスタジアム水戸（水戸市民球場）
- 1 6 表 彰 (1)優勝及び準優勝チームを表彰する。  
(2)個人賞として、最優秀選手賞・敢闘賞・打撃賞・勝利監督賞・最高年齢者賞を贈る。  
※打撃賞については、決勝戦進出チームの準決勝戦からの打率で決定する。
- 1 7 参 加 料 1チーム25,000円。大会初日の受付時に領収書と引替えに納入のこと。
- 1 8 宿 舎 幹 旋 宿舎の幹旋を必要とするチームは参加申込と同時に別添の用紙にて申込みこと。
- 1 9 弁 当 幹 旋 弁当の幹旋を必要とするチームは参加申込と同時に別添の用紙にて申込みこと。
- 2 0 そ の 他 (1)出場チームは必ずスポーツ傷害保険に加入し、健康保険証を持参のこと。  
(2)新型コロナウイルス感染症の今後の広がりや重症度等を見ながら、適宜見直す場合がある。  
(3)個人情報の取扱いについて  
主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、適正な管理を行うとともに、個人情報の保護に努  
める。取得した個人情報は、大会に関する諸連絡に利用するほか、連絡先以外の個人情報並びに大  
会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、  
プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・インターネット等の媒体に掲載する  
ことがあります。参加者は、大会に出場する要件としてこれに同意する。  
(4)本大会事務局問合せ先  
公益財団法人 水戸市スポーツ振興協会事務局 事業課スポーツコンベンション推進係  
〒310-0913 茨城県水戸市見川町2256 【TEL】029-243-4592 【FAX】029-243-8271  
【ホームページ】 水戸市スポーツ振興協会 (maas.or.jp) で検索  
(5)雨天の態度決定は午前6時30分とし、大会本部から各チーム代表者または連絡責任者へ連絡する。

**大会期間中間合せ先 午前6時30分から 【TEL】029-243-4592**